

# 決勝 対日本通運戦

試合日: 11月8日

この記録は公式ではありません。  
私のメモ程度を編集したものです。

日本通運(先発選手)	先攻
① サード 青柳	
② センター 大谷	
③ セカンド 峰下	
④ ファースト 伊藤	
⑤ ライト 土井	
⑥ DH 室谷	
⑦ キャッチャー 岸田	
⑧ レフト 古川	
⑨ ショート 花本	

ピッチャー 高山

ヤマハ(先発選手)	後攻
① DH 石野	
② レフト 鈴木光	
③ センター 矢幡	
④ ファースト 佐藤	
⑤ セカンド 河野	
⑥ サード 前野	
⑦ ライト 鈴木博 (偵察要員か?)	
⑧ キャッチャー 川邊	
⑨ ショート 青柳	

ピッチャー 池田駿

ヤマハの先発は中1日をおいて池田。彼にとってはこれがヤマハ最後の登板。  
悔いのない投球を期待しましょう。打線も好調を維持しています。  
浜松からはウィークデイにも関わらず、バス5台の応援団が駆けつけました。  
**負けるわけにはいきません。**

## 1回表

①三振	1アウト
②センターフライ	2アウト
③左中間2塁打	
④サードゴロ	3アウト

## 1回裏

①ショートゴロ	1アウト
②セカンドゴロ	2アウト
③レフト前ヒット	
④キャッチャーファールフライ	3アウト

さあ一始まりました。泣いても笑っても日本選手権最後の試合。新人、中堅、ベテラン、これが野球人生最後になるかもしれない選手、色々な思いを載せてスタートを切りました。

## 2回表

⑤三振	1アウト
⑥ライトフライ	2アウト
⑦三振	3アウト

## 2回裏

⑤ファーストゴロ	1アウト
⑥レフト前ヒット	
⑦サードゴロ ダブルプレイ	3アウト

## 3回表

⑧三振	1アウト
⑨センター前ヒット	
①ファーストゴロ(2アウト2塁)	2アウト
②ピッチャーゴロ	3アウト

## 3回裏

⑧セカンドライナー	1アウト
⑨レフト前ヒット (盗塁失敗)	2アウト
①三振	3アウト

## 4回表

③サードライナー	1アウト
④三振	2アウト
⑤死球 (盗塁失敗)	3アウト

## 4回裏

②キャッチャーゴロ	1アウト
③ショートフライ	2アウト
④センター前ヒット	
⑤サードフライ	3アウト

## 5回表

⑥ライト前ヒット	
⑦送りバント成功(1アウト2塁)	1アウト
⑧三振	2アウト
⑨三振	3アウト

## 5回裏

⑥ファーストファールフライ	1アウト
⑦センターフライ	2アウト
⑧三振	3アウト

5回まで、ヤマハの池田は被安打3、与四死球1、奪三振6、失点0 好投を続けます。  
日通の高山投手も、被安打4、与四死球0、奪三振2、失点0 好投します。  
池田は、120km/h前後の変化球～最速145km/h前後のスピードボールを駆使しますが、  
高山も負けじと、90km/h台の緩いボール～最速130km/hのスピードボールで対抗。  
スピードはもちろん池田が上。緩急の幅は高山が上。両チームギリギリするような展開です。

6回表

- ①四球
- ②ショートゴロ(1アウト2塁) 1アウト
- ③三振 2アウト
- ④ファーストファールフライ 3アウト

6回裏

- ⑨ライト前ヒット
- ①送りバント成功(1アウト2塁) 1アウト 1点先取
- ②ショートエラー
- ③ショートゴロ(2アウト2塁) 2アウト
- ④死球(2アウト1塁2塁)
- ⑤左中間2塁打 2点追加
- ⑥三振 3アウト

ついに均衡をヤマハが破りました。相手のエラー、死球を絡め、2本の長短打で3点をあげました。応援団は、「ワッショイ！！ワッショイ！！ワッショイ！！」の連呼、連呼、また連呼です。

7回表

- ⑤ショートフライ 1アウト
- ⑥センター前ヒット
- ⑦ライト前ヒット(1アウト1塁2塁)
- ⑧三振 2アウト
- ⑨四球(2アウト満塁)
- ①セカンド内野安打 1点
- (セカンドは良く止めましたが・・・)
- ②サードゴロ 3アウト

7回裏

- ⑦ショートゴロ 1アウト
- ⑧センター前ヒット
- ⑨送りバント成功(2アウト2塁) 2アウト
- ①(代打井上)ピッチャーゴロ 3アウト

3本のヒットと四球で、1点を日通に献上。得点をした後に抑えたいところでしたが、やはり相手も必死です。

8回表

- ③三振 1アウト
- ④センター前ヒット
- ⑤ファーストゴロ 2アウト
- (ランナー2塁封殺)
- ⑥ライト前ヒット(2アウト1塁2塁)
- (投手交代池田→九谷)
- ⑦四球(2アウト満塁)
- ⑧ショートゴロ 3アウト

8回裏

- ②サードゴロ 1アウト
- ③センター前ヒット
- 2塁を狙うもアウト 2アウト
- ④三振 3アウト

投手は九谷へ交代。2アウト満塁まで行きますが、後続を打ち取ります。

9回表は私が見たまま、感じたままにお伝えします

日通9回表のトップバッターは9番木南。ショートゴロエラーで出塁。(レギュラーバントに見えたが、記録はエラー) 続くバッターは1番大谷。今日はこちらまで4打数1安打。相手打線の中で最も警戒を要するバッター。予感的中、右中間3塁打を打たれ、1点差にまで迫られる。尚もノーアウト3塁  
 外野フライでも同点、スクイズも考えられるし、ここは同点も覚悟するしかない場面。  
 でも何とか逆転だけは阻止して欲しい…… 九谷「頑張れー 頑張れー」  
 バッターは2番松本、ピッチャーのサード側へゴロを放つ。九谷は横っ飛びのスライディングをする執念。ボールはサードの前野ががちり確保。サードランナーを睨んで1塁へ送球、アウト。1アウト3塁  
 ここからは相手の得点源、3番からの怖い、怖い、クлинаップへ打順が回っていく。  
 3番藤崎も今日は4打数1安打。1回には2塁打を打っている。九谷渾身の投球。ヤツタ三振だー  
 ノーアウト3塁がツアアウト3塁となりました。  
 オイオイ、次の4番を打ち取れば、優勝だぞー。ワクワクドキドキ、ワクワクドキドキ、ワクワクドキドキ  
 カーンという打球音を残して、ボールはセンター後方へ。両チームの応援団席から、同時に大歓声が…  
 やばい！やばい！でも、バックするセンター長谷川に余裕があるぞ。こっちを向いた。  
 捕った！捕った！捕った！1点を守り切りました。

ヤマハの応援席の大歓声は更に大きくなり、日通の大歓声は悲鳴へと変わりました。

3対2 ヤマハ 優勝！！